

公益社団法人日本口腔インプラント学会 関東・甲信越支部  
令和7年度 第3回代議員会 次第

日 時： 令和7年11月20日(木) 19:00~20:00

場 所： ZOOM

1. 開会の辞： 勝沼 孝臣 副支部長
2. 支部長挨拶： 築瀬 武史 支部長
3. 指名点呼： 笹谷 和伸 総務委員長
4. 議長選出：
5. 議事録署名人選出：
6. 確認事項
  - ① 関東・甲信越支部 令和7年度 第2回代議員会議事録 (案) (資料1)
7. 報告事項
  - ① (公社) 日本口腔インプラント学会 本学会務報告  
大久保 力廣 理事, 栗田 浩 常務理事, 田中 讓治 理事, 萩原 芳幸 理事,  
樋口 大輔 理事, 築瀬 武史 常務理事
  - ② 第15回支部学術シンポジウム開催報告 遠藤 学 大会長 (資料2)
  - ③ 第45回関東・甲信越支部学術大会準備状況 月岡 庸之 大会長 (資料3)
  - ④ 第16回支部学術シンポジウム準備状況 廣安 一彦 大会長
  - ⑤ 第56回年次学術大会準備状況 萩原 芳幸 大会長
8. 審議事項
  - ① 次期支部選出代議員について 小森 規雄 選挙管理委員長 (資料4)
  - ② その他
9. 監事講評： 根岸 邦雄 監事 奥寺 元 監事
10. 閉会の辞： 小倉 晋 副支部長

公益社団法人日本口腔インプラント学会 関東・甲信越支部  
令和7年度 第2回代議員会 議事録(案)

日 時： 令和7年7月18日(木)19:00～20:00

場 所： Web 開催(ZOOM)

代議員出席者(78名)：

欠席(6名)：

委任状提出者(27名)：

監 事：

オブザーバー(6名)：

1. **開会の辞**： 小倉 晋 副支部長より、参集に関する御礼、円滑な議事進行および審議についてお願いする旨のご挨拶があった。
2. **支部長挨拶**： 築瀬 武史 支部長より、次週に開催される支部学術シンポジウム、本支部が主催する第56回年次学術大会、および臨時代議員会開催趣旨(選挙制度関連の周知・承認)についての議題があり、慎重な審議をお願いする旨の挨拶があった。
3. **指名点呼**： 笹谷 和伸 総務委員長より、出席者予定 90 名、委任状提出 12 名、合計 102 名であり、代議員 111 名の過半数を超えることから本代議員会が成立することが報告された。出席の確認は ZOOM のチャット機能を用いて行うので、チャットにフルネームを記入するように説明があった。
4. **議長選出**： 笹谷 和伸 総務委員長より、前回の代議員会で既に承認されている関根 智之 議長および柳井 智恵 副議長が提案され、全会一致で承認された。
5. **議事録署名人選出**： 執行部より、黒田 真司 先生と古川 達也 先生が推薦され、全会一致で承認された。

6. **確認事項**

① 関東・甲信越支部 令和7年度 第1回代議員会議事録(案) (資料1)

笹谷 和伸 総務委員長より、資料 1 について確認がなされた。指摘事項等があれば総務委員会宛に連絡するように説明があった。

7. **報告事項**

① (公社)日本口腔インプラント学会 本学会務報告

■大久保 力廣 理事(試験委員)：ケースプレゼンテーション試験の申請を6月2日(月)から27日(金)まで受け付けをした。多くの申請があり、不備があれば申請者に差し戻しを行い、再提出を願う。試験を令和8年1月11日(日)にオンラインで行う。専門医・指導医試験の申請を8月12日(火)から29日(金)まで受け付けをする。プレゼンテーション書類をオンラインで提出の後に、多くの申請があり、不備があれば申請者に差し戻しを行う。プレゼンテーション書類をオンラインで提出の後に、試験を令和8年1月12日

(日)に TKP ガーデンシティ PREMIUM 田町で開催する。試験に関して、関係する審査委員に協力依頼があった。

■栗田 浩 常任理事(認定委員会):大久保 力廣 理事の報告通り、認定試験が行われる旨の説明があった。JSOI 専修医の認定申請が、8月12日(火)から29日(金)の間であることが追加報告された。認定医、指導医、および専修医の更新は、10月1日(水)から12月31日(水)に郵送で受け付ける旨の説明があった。

■田中 譲治 理事(用語委員会):口腔インプラント学学術用語集第6版に向けて第5版を精査しており、編集委員会や試験委員会と用語の統一化を図る方針である。日本歯科医学会の令和6、7年度のプロジェクト研究であるデジタル歯科用語集への協力依頼が、日本デジタル歯科学会からあり、用語委員会で検討している旨の説明があった。

■萩原 芳幸 理事(国際委員会・IJID 編集長):IJID の IF が上昇しており、国際的な評価が高まり、IF が 4.0 である。採択率は 20~30%であるが、会員からの積極的な投稿を望む旨の説明があった。

■樋口 大輔 理事(財務委員会):会員サービスを重視しており、本学会の年会費は歯科系の学会の中では安価であるが、このまま据え置く努力をする方針である旨の説明があった。

■築瀬 武史 理事(専門医制度推進委員会):日本歯科医学会の人事について説明があった。日本専門医機構で、日本顎顔面インプラント学会との第21回ワーキンググループは再開したとの報告があった。本代議員会終了後に、協議内容を共有するとの説明があった。

#### ② 第15回支部学術シンポジウム準備状況 (資料2)

遠藤 学 大会長から、資料2に基づき、「ゼロボーンロスを達成するためのストラテジー」をテーマに、令和7年7月27日(日)に日本歯科大学富士見ホールで開催する準備をしている。現在、事前申し込みが323名であり、当日参加を含め400名を目指しており、更なる周知をお願いしたい。企業展示は40社であり、スタンプラリーを行い、企業手に会場への動線を促したい旨の説明があった。

#### ③ 第45回関東・甲信越支部学術大会準備状況 (資料3)

月岡 庸之 大会長より、資料3に基づき、「口腔インプラントが支えるトータルヘルスケアの近未来~DX・AI・マテリアル・メソッドで加速する未来~」をテーマに、令和8年2月14日(土)および15日(日)にTAKANAWA GATEWAY Convention Centerで開催する準備をしている。演題募集が7月1日(火)より開始している。今回、本学会本部の協力のもと、優秀研究発表賞を設けた。協賛企業は40社で、今後さらに募集を進めていく。東京都歯科医師会の後援、日本ヘルスケア協会の講演などの準備が進行中である旨の説明があった。

#### ④ 第16回支部学術シンポジウム準備状況

廣安 一彦 大会長より、令和 8 年 8 月 2 日(日)に日本歯科大学富士見ホールで開催する準備をしている旨の説明があった。

⑤ 第 56 回本部学術大会準備状況

萩原 芳幸 大会長より、会期は令和 8 年 9 月 18 日(金)～20 日(日)、会場は東京フォーラムで開催予定であることが説明された。18 日(金)に専門医教育講座、19 日(土)に懇親会(帝国ホテル)を予定している。開催に関して、関東甲信越支部の各施設の協力をお願いしたいとの説明があった。

8. 審議事項

① 支部代議員選出規程の変更について (資料 4)

小森 規雄 選挙管理委員長より、資料 4 に基づき、支部代議員選出規程の変更について説明があった。代議員の被選挙人の資格における「会員歴」に変更(正会員歴が原則 6 年→正会員歴が通算 6 年)があった。本件に関し、会員が問い合わせる場合には、支部選挙管理委員会に問い合わせることを周知してほしい旨の説明があった。各研修施設の会員数に応じての代議員の選出法について質疑応答がなされた。投票の結果、賛成多数により承認された。

② 令和 9 年度支部学術シンポジウム主管について

廣安 一彦 学術委員長より、主幹として東京大学口腔顎顔面外科・矯正歯科 星和人 先生が推薦され、投票の結果、全会一致により承認された。星 和人 先生より、挨拶があった。準備委員長には、中田 秀美 先生を予定している旨の説明があった。

③ その他

小森 規雄 選挙管理委員長より、資料 4 に基づき、支部代議員選出規程の変更について追加があった。次期代議員候補の名簿の提出が、10 月末までに早まった旨の説明があった。投票の結果、全会一致により承認された。

9. 監事講評

奥寺 元 監事より、議事・進行が滞りなく行われたこと、また、重要課題は継続審議をお願いする旨の挨拶があった。

10. 閉会の辞

廣安 一彦 学術委員長より、慎重かつ迅速な審議に感謝するとともに、今後も積極的な参加をお願いする旨の挨拶があった。

次回代議員会:令和 7 年 11 月 20 日(木)、Web(ZOOM)開催(予定)